

東北地方 3 か月予報

(9 月から 1 1 月までの天候見通し)

平成 2 4 年 8 月 2 3 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 3 か月の天候 >

向こう 3 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

9 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

気温は、平年並または高い確率ともに 4 0 % です。

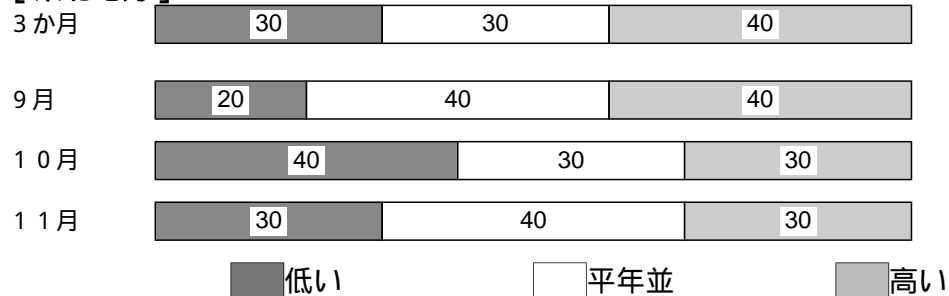
1 0 月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

1 1 月 東北日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

< 向こう 3 か月の気温、降水量の各階級の確率 (%) >

< 気温 >

[東北地方]

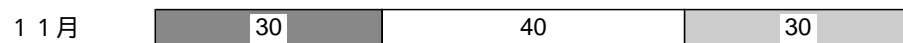
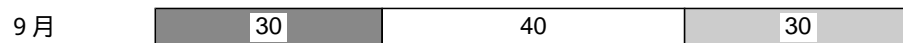





< < 降水量 > >

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



 少ない  平年並  多い

< 次回発表予定等 >

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は8月24日

3 か月予報：9月25日（火） 14時

寒候期予報：9月25日（火） 14時

9月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）平年値（月・３か月平均気温、降水量、日照時間）

	気 温 ()				降 水 量(mm)				日照時間(時間)			
	9月	10月	11月	9月～11月	9月	10月	11月	9月～11月	9月	10月	11月	9月～11月
青森	19.3	13.1	6.8	13.1	122.7	103.9	137.7	364.3	158.4	149.7	87.6	395.6
深浦	19.1	13.5	7.7	13.4	162.9	155.4	146.9	465.2	152.3	131.2	64.9	348.5
むつ	18.3	12.4	6.5	12.4	170.1	109.8	117.4	397.2	144.7	159.0	102.9	406.5
八戸	18.9	13.0	6.9	13.0	167.6	87.2	62.0	316.8	143.6	161.3	133.3	438.2
秋田	20.4	14.0	7.9	14.1	160.3	157.2	185.8	503.3	153.8	145.4	82.7	381.9
盛岡	18.7	12.1	5.9	12.2	160.3	93.0	90.2	343.5	123.7	145.8	116.9	386.4
大船渡	19.5	14.0	8.3	13.9	201.8	140.7	94.1	436.5	116.3	140.7	134.9	391.8
宮古	18.8	13.3	7.8	13.3	213.7	125.7	80.1	419.5	128.0	155.2	147.3	430.5
仙台	20.7	15.2	9.4	15.1	187.5	122.0	65.1	374.6	121.2	148.6	139.6	409.3
石巻	20.1	14.5	8.5	14.4	143.2	119.2	66.6	329.0	133.4	155.7	147.5	436.6
山形	20.1	13.6	7.4	13.7	127.2	92.4	84.5	304.0	128.7	132.1	99.2	360.0
新庄	19.4	12.7	6.4	12.8	144.4	156.6	188.7	487.6	119.0	105.1	62.3	286.5
酒田	21.1	15.1	9.3	15.2	162.1	180.5	225.0	567.6	150.7	141.5	81.9	375.6
福島	21.1	15.1	9.2	15.1	160.3	119.1	65.5	344.9	114.2	135.8	128.3	378.4
若松	20.3	13.5	7.1	13.6	136.9	100.1	78.9	315.9	132.1	121.5	86.8	340.4
白河	19.4	13.5	7.8	13.6	205.8	135.6	69.8	411.1	113.6	138.1	144.8	396.5
小名浜	21.5	16.4	11.1	16.3	188.2	173.8	82.4	444.4	139.5	152.7	160.5	452.6

欠測により平年値を求めるための資料年数（観測値のある年数）が各月毎に異なることなどにより、３か月平年値等が各月の平年値から求めた値と一致しないことがあります。

（２）1981～2010年のデータに基づいたこの予報期間の地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

要 素	予報対象地域	9月	10月	11月	9月～11月
気温平年差()	東北地方	-0.5 ～ +0.3	-0.3 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.2 ～ +0.3
	東北日本海側	-0.4 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.4	-0.3 ～ +0.5	-0.2 ～ +0.3
	東北太平洋側	-0.5 ～ +0.3	-0.3 ～ +0.5	-0.3 ～ +0.5	-0.2 ～ +0.4
降水量平年比(%)	東北地方	89 ～ 110	81 ～ 107	85 ～ 105	89 ～ 107
	東北日本海側	83 ～ 111	84 ～ 109	93 ～ 105	93 ～ 112
	東北太平洋側	84 ～ 117	76 ～ 108	69 ～ 113	87 ～ 110
日照時間平年比(%)	東北地方	95 ～ 109	99 ～ 105	97 ～ 105	97 ～ 104
	東北日本海側	97 ～ 108	100 ～ 103	100 ～ 108	96 ～ 104
	東北太平洋側	95 ～ 109	101 ～ 105	94 ～ 101	98 ～ 103

（３）接近する台風の平年値

	9月	10月	11月
東北地方	0.9	0.4	0.0

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の３つの階級で予報します。階級の幅は、1981～2010年の30年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10％以下や60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。

東北地方 3 か月予報解説資料（9～11月）

平成24年8月23日 仙台管区气象台

1. 向こう3か月の確率予報の特徴

各階級の確率の偏りが小さい場合は記述していない。

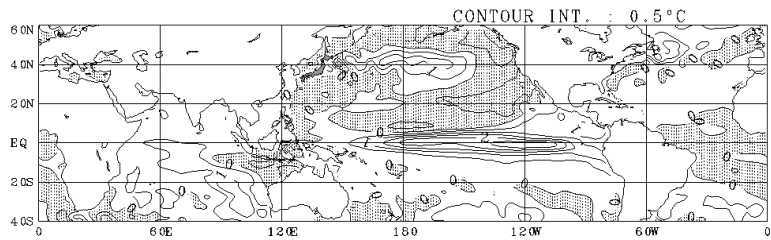
9～11月	
9月	気温は、平年並または高い確率ともに40%です。
10月	
11月	

2. 数値予報による海洋と大気の流れの予想

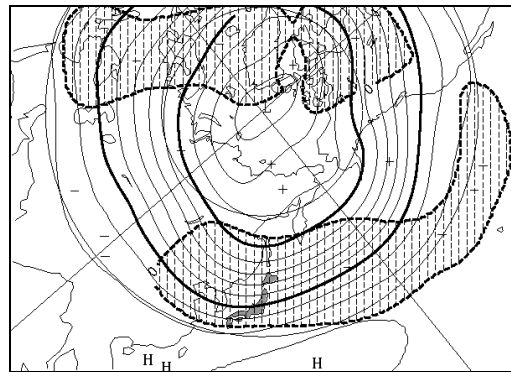
海面水温(上図)は、太平洋中部から東部の赤道域で平年より高く、エルニーニョ現象が継続する予想である。エルニーニョ現象が日本付近の大気に及ぼす影響は11月にかけて次第に強まる見込み。

熱帯の対流活動(図略)は、エルニーニョ現象時の特徴を示し、太平洋中部から東部の赤道域で平年より活発となり、インド洋東部からインドネシア付近では不活発となる。これを反映し、亜熱帯ジェット気流はユーラシア大陸から日本にかけて平年より南を流れる見込み。一方、通常のエルニーニョ現象時とは異なり、フィリピンの東では対流活動が活発な状態が10月頃まで続き、日本の南で太平洋高気圧が平年より強い予想。

500hPa 高度(中図)は、北緯40度付近で偏西風の蛇行が明瞭でバイカル湖の西で正偏差、華北から日本付近で負偏差となる。亜熱帯ジェット気流が平年より南を流れるため、日本付近では帯状に負偏差となっている。太平洋高気圧は日本の南で平年より強く、その北側の日本付近は気圧の谷となる見込み。東北地方ではおおむね平年程度の天候を見込むが、10月は寒気の影響を受けやすいと見る。



3 か月平均の海面水温偏差の予想図
等値線間隔は0.5℃。陰影部は負偏差。



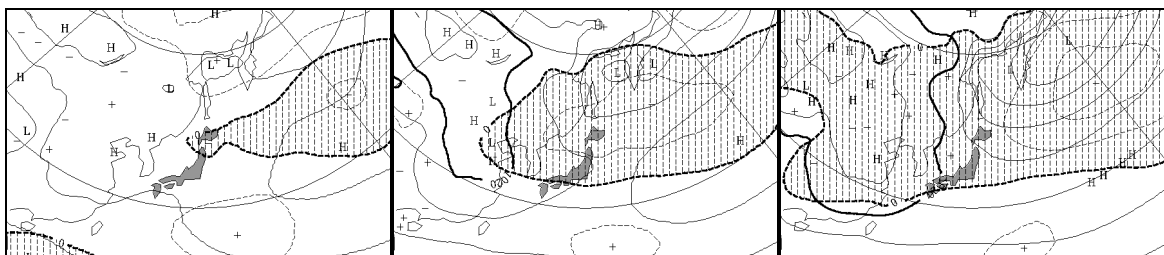
3 か月平均の500hPa 高度と偏差の予想図
実線は高度(間隔60m)、点線は偏差(間隔30m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

月別の予想(下図)

9月: 日本の南で太平洋高気圧が平年より強い。東北地方は高温傾向で月のはじめは残暑が厳しい。秋雨前線の影響は月の前半は弱く、後半はやや強い予想。天気は数日の周期で変わるが、東北太平洋側では平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。

10月: 太平洋高気圧は日本の南で平年より強く、その北側の日本付近は気圧の谷となる。カムチャツカ半島から北日本にかけて負偏差域におおわれる。寒気の影響を受けやすく、やや低温傾向が予想される。南からの暖かく湿った気流が弱く、東北太平洋側の降水量はやや少ない傾向。天気は数日の周期で変わる見込み。

11月: アリューシャン近海から日本付近にかけて負偏差域におおわれる。アリューシャン低気圧は平年より強く、一時的に西高東低の冬型の気圧配置となる。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。



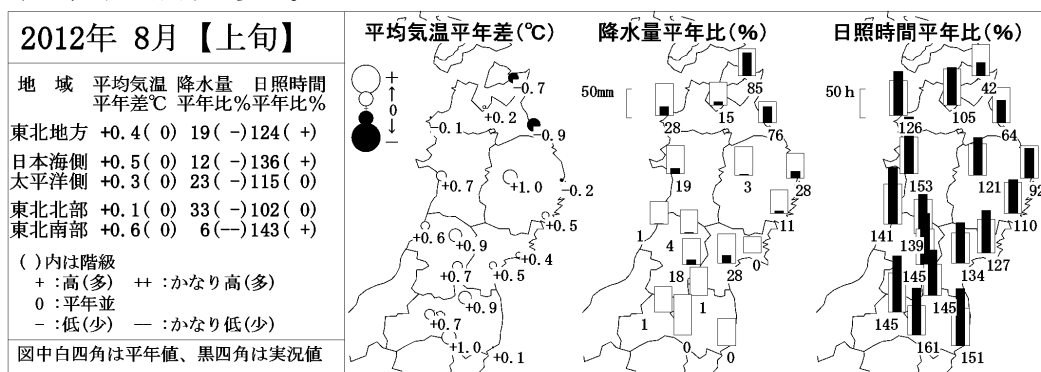
月平均の海面気圧と偏差の予想図

左から9月、10月、11月。実線は海面気圧(間隔4hPa)、点線は偏差(間隔1hPa)。陰影部は負偏差。

3. 最近の天候経過

8月上旬：この期間、高気圧におおわれて晴れの日が多かったが、東北太平洋側の北部では湿った東よりの風や日本の東に停滞した気圧の谷の影響を受けて曇りの日が多かった。6日は上空に寒気が入り大気の状態が不安定となって東北北部を中心に大雨となった。気温は、期間の前半は平年より高く、期間の後半は平年より低かった。

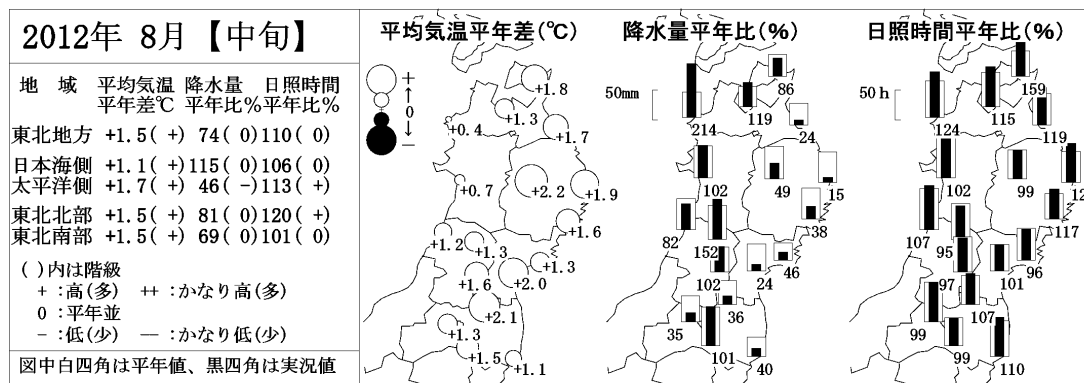
平均気温は平年並。降水量は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北北部で平年並、東北南部で多い。



8月上旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

8月中旬：期間の中頃までは気圧の谷や前線が次々と通過し、変わりやすい天気となった。期間の終わりは高気圧におおわれて晴れた。13日から14日にかけては日本海の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、東北日本海側を中心に大雨となった。また、12日と16日から20日にかけては大気の状態が不安定となり、局地的に大雨となった。

平均気温は高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部で平年並。

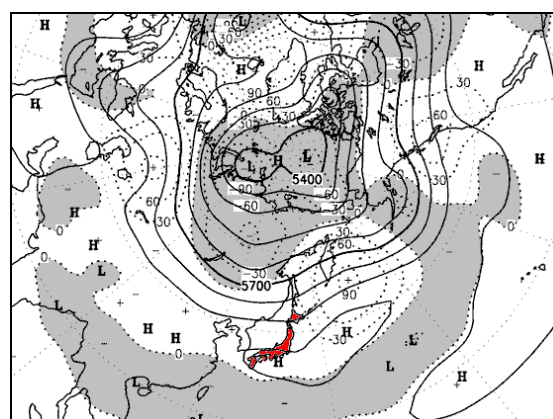


8月中旬の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

4. 今月の循環場の特徴

8月（20日まで）：500hPa 高度は、モンゴルからカムチャツカの東にかけて帯状に正偏差で、本州付近は日本の東に中心を持つ太平洋高気圧におおわれた。高緯度帯でジェット気流の蛇行がみられ、北日本に寒気が南下した時期があった。

東北地方は、上旬は太平洋高気圧におおわれ晴れの日が多かった。中旬は中頃まで気圧の谷や湿った気流の影響を受け、局地的に大雨となったが、中旬の終わりは太平洋高気圧が再び強まり、晴れて気温が高くなった。



8月1日～20日の平均500hPa 高度

実線は高度（間隔 60m）、点線は偏差（間隔 30m）。陰影部は負偏差。

<参考資料>

平年の天気出現日数（日）

	青 森		秋 田		盛 岡		仙 台		山 形		福 島	
	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水	晴れ	降水
9 月	15.8	10.3	15.4	12.3	12.6	11.4	12.4	11.2	12.8	10.8	11.5	10.5
10 月	16.2	12.6	15.5	13.8	15.8	10.2	16.5	7.8	14.3	9.8	15.6	7.6
11 月	9.8	16.9	8.9	18.1	14.3	11.9	18.0	6.2	10.9	11.9	16.3	6.6

晴れ日数は「日照率40%以上の日数」、降水日数は「日降水量1mm以上の日数」。